



H20. 7. 4 No1250
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行＝指導部 漁政課
URL: <http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

1. 本会第59回通常総会を開催

本会では6月20日、県水産会館において第59回通常総会を開催しました。総会は橋ヶ谷会長の挨拶のあと、石川県知事、田島県議会産業委員会委員長の来賓祝辞に続き、祝電披露が行われました。

続いて県漁連、信漁連の両連合会から漁協系統における永年勤続者に対する感謝状が、萩原源一氏(南伊豆町漁協)、中山美義氏(相良漁協)の2名に贈呈されました。

そして山本初島漁協組合長が議長となり、平成19年度事業報告、20年度事業計画、定款の一部変更等が審議されいずれも原案どおり可決承認されました。

また、役員補欠選挙の結果、大井川町漁協の谷澤輝雄組合長が理事に選任されました。

なお、「燃油価格暴騰対策に関する特別決議」が上程され満場一致で採択されました。

即日、本会ではその実現に向けて、県下漁協及び水産関係団体を構成員とする「静岡県燃油高騰対策本部」を立ち上げ、全漁連を中心とする中央団体等と連携し対策活動の展開を始めました。

2. イカ釣り漁一斉休漁 国に燃油価格高騰の抜本的な対策を求める

全国20道府県の小型船(30トン未満)のイカ釣り漁業者で構成する全国いか釣り漁業協議会(JF全いか協)では、6月18、19日の2日間、約三千隻の参加のもと一斉休漁を実施しました。

これは、燃油価格高騰によるコスト増が、小型イカ釣り漁業者の経営に大打撃を与えており、現行の燃油価格では出漁しても赤字が重なり、もはや自助努力の限界を超えている窮状を広く理解してもらうために実施したものです。

また、一斉休漁に連動して、JF全いか協の代表団約70人が東京都内で集会を開き、その後、水産庁を訪れて、①燃油価格高騰に対する必要な補てん措置 ②経営存続のため、税制及び金融措置等における抜本的な対策 ③省エネ技術導入への支援策、を講ずるよう要望を行いました。

なお、全漁連では、大水並びに漁業生産団体組織と協調し、7月15日に東京都内で全国の漁業代表者3,000人規模による「漁業経営危機突破全国漁民大会」を開催し、全魚種を対象とした全国一斉休漁の実施と併せ、燃油価格高騰に直面する窮状を世論に訴え、国に抜本的な対策を早急に講ずるよう要望することにしていきます。

3. トラフグの資源管理について検討する

本会では、去る6月19日、県水産会館において県トラフグ資源管理型漁業実践推進漁業者協議会を県ふぐ漁組合連合会の第18回通常総会と併せて開催しました。

漁業者協議会では、県水産技術研究所浜名湖分場の花井主任研究員から「平成19年度トラフグ漁期の総括について」と題して、19年度漁期の延縄漁の結果などについて情報提供がありました。続いて県水産資源室鈴木副主任から「20年度トラフグの資源回復計画につい

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

て」、県温水利用研究センター堀内所長から「20年度トラフグ種苗生産状況」について情報提供がそれぞれあり、19年度トラフグ漁における資源管理の実践状況の確認をするとともに、20年度の方向性について協議しました。

一方、県ふぐ漁連の20年度事業計画では、豊かな海づくり協会の補助金を受けて、県温水利用研究センター産の種苗1万5千尾(全数右胸鰭カット標識)を三重県有滝地先へ放流することや単独事業として同センター産の種苗2万5千尾を浜名湖内に直接放流することとしていきます。また、本年度から水揚げ賦課金として水揚げ金の1%を、種苗放流の基金として漁期終了後に徴収することになりました。

なお、役員退任に伴う補充選任、会長互選の結果、会長理事に内山尚夫氏(浜名漁協組合長)、監事に原田輝男氏(浜名漁協・多輝丸)が選任されました。

4. 桜えび春漁終了 水揚げ金額38億2千万円で昨年春漁を上回る

本年の春漁は4月1日夜に始まり、5月31日夜で終漁し、この間の出漁日数は19日(昨年同期23日)、漁獲量は1,298トンと昨年並み(同1,296トン)となりました。

しかし、平均単価は2,990円/kgと昨年春漁(同2,828円/kg)より高値で推移したため、水揚げ金額は約38億2千万円と昨年(同約36億6千万円)を上回る結果となりました。

なお、県水産技術研究所の協力を得て6月下旬～10月下旬までの予定で、県桜えび漁業組合による主産卵場調査(桜えび増殖対策事業)が実施されています。

5. 高校生おさかな料理コンクール作品募集中! ー県おさかな普及協議会ー

県おさかな普及協議会(会長:橋ヶ谷善生県漁連会長)では、県下の高校生を対象に「第4回イキイキ高校生おさかな料理コンクール」を開催し、ユニークでセンス溢れる魚料理のレシピを募集しています。

なお、今回は、全漁連(中央シーフードセンター)が主催する「第9回シーフード料理コンクール」にリンクさせ、本県の最優秀賞作品を当該コンクールの浜料理部門へ推薦します。

応募要領は次のとおりです。

▽応募テーマ:「夕飯に食べたい!お魚料理～短時間で簡単に作れるレシピ～」
▽応募条件:①応募資格=県内の高校生 ②材料=県内に水揚げされる魚介類及び海藻類を主材料として使用されていて、副材料として緑黄色野菜が使われていること ③材料費=3千円以内 ④調理時間=50分以内 ⑤条件内容=4人分に分けて盛り付け、器などは各自持参する
▽応募方法=在籍する学校を経由して応募する
▽締切=平成20年8月25日(月)必着
▽賞及び副賞:最優秀賞(1点)・副賞(7万円相当額の旬の水産物)、優秀賞(1点)・副賞(5万円相当額の旬の水産物)、優良賞(2点)・副賞(3万円相当額の旬の水産物)他
▽問合せ:県おさかな普及協議会(県漁連漁政課内) Tel:054-254-6011

6. 本会人事異動のお知らせ

本会では次のとおり職員の人事異動を発令しました。(カッコ内は旧役職)

◇異動 7月1日付▽焼津事業所長兼同購買課長 安藤徳一郎(焼津事業所長)▽清水給油所長 池田 正(焼津事業所購買課長)▽焼津事業所購買課主任 高木基良(浜名駐在所販売主任)▽焼津事業所購買主任 市川伸二郎(清水給油所石油担当主任)▽沼津事業所主任 村松豊(沼津港湾事務所主任) ◇新規採用 7月1日付▽漁連丸船員 川口浩之 ◇嘱託採用 7月1日付▽焼津事業所 藤田治子 ◇退職 6月30日付▽山梨木の実(焼津事業所)

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう